

区分	専門基礎分野	単位	1単位
科目名	病態生理学Ⅲ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	2年次
概要	疾患（脳神経、神経内科、耳鼻科、歯科・口腔）の本態とその治療・検査について学び、病変が生体の諸機能に与える影響を理解する。		
学習目標	1. 脳神経、神経内科、耳鼻科、歯科・口腔系の主要な疾患・病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置が理解できる。 2. 病変が生体の諸機能に与える身体症状が理解できる。 3. 疾病を持つ患者の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	脳・神経の構造と機能、症状と病態生理	講義	
2	脳神経疾患にかかわる診察・検査・治療・処置	講義	
3	脳神経の疾患と診療（脳梗塞、もやもや病）	講義	
4	脳神経の疾患と診療（脳出血、クモ膜下出血、脳動脈瘤）	講義	
5	脳神経の疾患と診療（脳腫瘍、頭部外傷等）	講義	
6	耳鼻咽喉の構造と機能	講義	
7	耳鼻咽喉疾患にかかわる診察・検査・治療 呼吸器の疾患と診療（突発性難聴、メニエール病、副鼻腔炎、扁桃炎、扁桃肥大症、喉頭炎、喉頭癌、咽頭癌等）	講義	
8	歯・口腔の構造と機能 歯・口腔の症状と病態生理、診察・検査・治療	講義	
9	歯・口腔の症状と疾患と診療	講義	
10	神経内科の疾患と診療（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症）	講義	
11	神経内科の疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置	講義	
12	神経内科の疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 （多発性硬化症、重症筋無力症、筋ジストロフィー）	講義	
13	神経内科の疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 （アルツハイマー病、ピック病、認知症）	講義	
14	神経内科の疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 （脳炎、脊髄炎）	講義	
15	神経内科の疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置（てんかん）	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 成人看護学⑥ 脳・神経 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 成人看護学⑬ 耳鼻咽喉・歯・口腔 メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
筆記試験（脳神経疾患50%、神経内科疾患50%）			
備考			
15回全て合同授業 状況により講義順番の変更あり			